

# 自転車活用推進の状況(令和5年度の概要)

## 目標1 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

### <自転車通行空間の整備推進>

- ✓歩行者等と適切に分離した自転車通行空間を創出するため、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の改定案をとりまとめ。
- ✓限られた道路空間の中で、現地状況に応じた柔軟な再配分等を行うことにより、自転車通行空間の整備を検討する手法を例示。



### <自転車の利用によるCO2削減>

- ✓「デコ活」において、自動車から公共交通機関や自転車への利用転換について普及啓発を実施。



### 指標と実績

- 自転車ネットワークに関する計画が位置付けられた自転車活用推進計画を策定した市区町村数：目標：400市区町村(令和7年度) 実績：192市区町村(令和5年度見込)
- シェアサイクル事業が位置付けられた自転車活用推進計画を策定した市区町村数：目標：240市区町村(令和7年度) 実績：132市区町村(令和5年度見込)

### <地方版自転車活用推進計画の策定促進>

- ✓シクロサミット(R5.10)において、地方公共団体に対し、地方版自転車活用推進計画の策定を働きかけ。
- ✓令和5年12月、札幌市が自転車活用推進計画を策定し、全ての指定都市において計画に基づく活用推進を実施。
- ✓令和6年2月に三重県内8市町で自転車活用推進計画を共同策定。

### <シェアサイクルの導入を促進>

- ✓令和5年9月にシェアサイクル事業の導入・運営のためのガイドラインを策定し公表。
- ✓自転車利用環境向上会議(R5.11)や全国シェアサイクル会議(R6.2)において、地方公共団体に対して情報提供や働きかけを実施。



## 目標2 サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現

### <多様な自転車の活用>

- ✓タンデム自転車の公道走行が令和5年7月より東京都において認められ、全ての都道府県において二人乗りが可能になった。



### <スポーツツーリズムを通じたサイクルスポーツの振興>

- ✓スポーツ人口拡大への貢献に資する優れた取組を表彰するSport in Lifeアワードにおいて自転車を活用した優秀なスポーツツーリズムの事例を令和6年3月に表彰するなどし、サイクルスポーツの振興を推進。



### 指標と実績

- 通勤目的の自転車分担率：目標：18.2%(令和7年度) 実績：13.8%(令和3年度) ※全国都市交通特性調査(令和3年)より算出

### <自転車通勤の導入促進>

- ✓「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクトにおいて、令和5年度までに宣言企業を計61社、特に優れた企業として優良企業を計9社認定。



### <令和5年度自転車活用推進功績者表彰>

- ✓自転車の活用推進に関し特に顕著な功績があると認められた6者を令和5年5月に表彰。



### <自転車を活用した健康づくりに関する広報啓発>

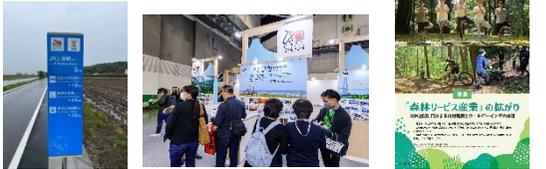
- ✓SMART LIFE PROJECTとして健康寿命の延伸につながる取組を推進。



## 目標3 サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現

### <ナショナルサイクルルート(NCR)をはじめとする世界に誇るサイクリング環境の創出と国内外へのPR>

- ✓NCR6ルートについて、「誰もが安全・快適に走行できる環境整備」「サイクリストの受入環境整備」「コンテンツの磨き上げ等による魅力づくり」などを実施。
- ✓台北サイクル2024やCYCLE MODE TOKYO 2023において、自転車活用推進本部及び各ルートが協力し、国内外に向けたNCRのPRを実施。
- ✓「森林サービス産業」の一環としてマウンテンバイクのプログラム等を情報発信。



案内看板の充実 つくば霞ヶ浦りんりんロード 台北サイクル2024(R6.3.5-9)におけるPR活動 マウンテンバイクのプログラム等の情報発信

### 指標と実績

- 先進的なサイクリング環境の整備を目指すモデルルートの数：目標：100ルート(令和7年度) 実績：94ルート(令和5年度)

### <サイクルトレイン・サイクルバスの導入促進>

- ✓令和5年5月に「サイクルトレイン・サイクルバス導入の手引き」を策定し、各交通事業者の導入を支援。
- ✓令和6年1月にサイクルトレインの取組事例や、課題と対応、支援などについてホームページを新たに開設。



## 目標4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

### <安全性の高い自転車の普及に係る取組>

- ✓ISOとの整合化のため自転車に関するJISの主要規格(JIS D 9301など)について改定のための審議を実施。
- ✓一般財団法人日本車両検査協会が実施する自転車技士試験に対し後援により支援。



### <ヘルメット着用の努力義務化>

- ✓令和5年4月より自転車乗用中のヘルメット着用が努力義務化。



### 指標と実績

- 自転車の安全基準に係るマークの普及率：目標：45%(令和7年度) 実績：35.2%(令和4年度)
- 自転車乗用中の交通事故死者数：419人(令和2年)→346人(令和5年) ※第11次交通安全基本計画の計画期間に、自転車乗用中の死者数について、道路交通事故死者数全体の減少割合以上の割合で減少させることを目指す。
- 自転車技士の資格取得者数：目標：4900人(令和3~7年度) 実績：2530人(令和3~5年度)
- 自転車損害賠償責任保険等の加入率：目標：75%(令和7年度) 実績：62.9%(令和5年度)

### <自転車損害賠償責任保険の普及促進>

- ✓今年度新たに岡山県と山口県が加わり、44都道府県において、自転車損害賠償責任保険等の加入を義務化又は努力義務化する条例を制定。

